

提供日 2015/10/20

タイトル グランシップ伝統普及プログラム「触れてみよう能楽師」

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

### 「グランシップ伝統芸能普及プログラム」大学連携事業

### 触れてみよう能楽師～能「羽衣」～

～静岡市立駒形小学校6年生が、静岡市ゆかりの能「羽衣」に触れる貴重な機会です～

## 1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成22年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して、能楽などの伝統芸能がもつ魅力や特徴などを多角的に紹介しています。今回は、静岡県立大学国際関係学部に学生有志が制作した能「羽衣」の絵本を通して静岡市ゆかりの能を紹介し、また一流の能楽師による能のお話と実演を披露します。

## 2 概要

区分	内 容
公演名	グランシップ伝統芸能普及プログラム 静岡県立大学連携事業 触れてみよう能楽師～能「羽衣」～
日 時	平成27年10月26日（月）13：40～14：35
会 場	静岡市立駒形小学校（静岡市葵区南安倍2丁目1-1）
参加者	6年1組 41名（男子22名・女子19名）
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・静岡県立大学国際関係学部学生（羽衣つたえ隊）による絵本「羽衣」の読み聞かせ、解説</li><li>・観世流能楽師 山階彌右衛門氏による能楽についての基本的な解説</li><li>・山階彌右衛門氏による能の実演</li></ul>
講 師	 <p>*山階彌右衛門（やましな やえもん） 観世流シテ方。観世流二十五世宗家観世左近次男。父及び二十六世観世清和に師事。重要無形文化財総合指定保持者。（一社）観世会副理事長、（一財）観世文庫常務理事。</p>
本プログラムの目的・特徴	グランシップで継続している能楽公演を単なる興行的公演で終わらせず、地域と連携したプログラムとして構成しています。また、各地で開催されているアウトリーチ事業は決まったものを様々な場所で同じように公演するが多く見られます、本事業は各地域や機関の実情に合わせ、内容や出演者を個別に選定しています。能楽という芸術だけでなく、“能楽師”という演者・芸術家の人としての魅力にも触れることができます。 静岡市にある世界文化遺産・三保松原にゆかりのある能「羽衣」について、地域に暮らす小学生が分かりやすく学び、伝統芸能に触れる機会とします。
主 催	公益財団法人静岡県文化財団／静岡県立大学

## 3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：(公財)静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 (担当：法月・北岡)